

月高だより

北海道札幌月寒高等学校
第 51 号
令和 8 年 3 月 19 日発行
発行者 校長 三 村 素 道

■ **学校評価について** 12 月に実施した学校評価の結果をお知らせします。紙面の都合で文字が小さいため、たいへん見づらく申し訳ないのですが、上が全日制のもので、下が定時制の学校評価となります。本校では、毎年度「学校経営シラバス」を作成し全教職員で共通の目標達成に向けた学校運営を行っているところです。学校評価につきましては、学習指導、生徒指導、進路指導など 7 つの領域における「今年度の目標」を踏まえて設定している「目標達成のための評価の観点」について、生徒・保護者・教員の三者の目から見て、どの程度達成できているかを 5 段階で評価することで、目標の達成度合いを評価する形でっております。保護者の方からは、回答しにくいという声もありますが、趣旨をご理解の上、お子様から伝えられる学校の様子を踏まえて学校評価へのご協力を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

対象	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	生徒	保護者	教員
学習指導	○カリキュラム・ポリシーに則った教育課程の編成及び実施 ○「主体的・対話的で深い学び」の実践を通じた自主的な学習態度の育成 ○「令和の日本型教育」に示された個別最適な学びと協働的な学びの実践、及びそれらを支える ICT の有効活用	○卒業後の進路に求められる資質・能力を着実に育成できる教育課程を編成・実施し、グラデュエーション・ポリシーに示された 7 つの資質・能力を育成しているか	3.8	3.9	3.8
		○指導と評価の一体化の観点から、観点別評価を適切に実施し、指導方法の工夫・改善に生かすことができたか	3.9	3.9	3.4
		○教科横断的視点から、総合的な探究の時間を中心に、3 年間を見通した探究的な学びの充実が図られたか	3.8	3.9	3.2
		○生徒による授業評価の実施・分析を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」に係るアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善が図られたか	3.8	3.8	3.6
生徒指導	○基本的な生活習慣の確立に努め、自ら規範意識をもって自己管理できる能力の育成 ○特別活動や課外活動等を通じた主体性や社会性の育成 ○いじめの撲滅	○個別最適な学びと協働的な学びの実践、及びそれらを支える一人一台端末の活用が図られたか	4.0	4.1	3.5
		○自主・自立の校風の中で自己管理を促し、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、自律性を身に付けさせることができたか	3.9	4.0	3.4
		○親和・協力の精神で主体性や社会性、豊かな人間性を育むことができたか	4.0	4.1	3.5
		○お互いに人格と個性を尊重し支え合い、多様な在り方を相互に認め合える人間関係の形成を通じて、いじめ撲滅を図ることができたか	4.2	4.1	3.9
進路指導	○進路相談や進路学習を充実させ、自己理解に基づく主体的な進路選択の促進 ○学年や教科との連携を密にし、生徒一人一人の能力・適性に応じた進路実現の支援 ○低学年から進路意識の高揚を図り、計画的に進路実現に取り組む態度の育成	○生徒が主体的に確かな自己実現を図るため、充実した進路情報を早期から提供することができたか	4.2	3.9	3.7
		○進路指導体制の充実に取り組み、様々な入試制度を活用し生徒や保護者の期待に応える進路希望が実現できたか	4.2	3.8	3.6
		○3 年間を見通した系統的で継続的な進路指導を行い、進路意識を高揚できたか	4.1	3.8	3.7
健康・安全指導	○学年・分掌並びに家庭・地域社会との連携を密にして健康支援及び健康・安全指導の充実及び事故の未然防止 ○心のふれあいを基盤とする教育相談の推進及び、生徒理解の深化 ○環境美化に係る指導の充実及び、自然や公共物を大切に育てる態度の育成	○心身ともに健康な生徒を育成するため、健康・安全意識を高める啓発活動を行い自律性を育むことで、事故の未然防止に努めたか	4.1	4.0	3.9
		○外部機関とも連携した教育相談や生徒理解の取組を充実させ、不登校等の早期発見と組織的な支援を行うことができたか	3.9	4.1	3.9
		○安全・防災の観点から教育環境の維持向上を図るため、施設設備の日常的な点検整備を行い、改善に努めたか	3.4	3.6	3.8
運営	○PDCA のマネジメントサイクルによる教育活動の改善・充実 ○組織的・機能的な協働体制の充実	○経営方針や教育目標を明示し、各種反省会議や学校評価を適切に行い課題を明確にすることで、教育活動の改善・充実を図ることができたか	—	4.0	3.7
		○分掌・学年及び職員間の連携を図り、校内研修会等を効果的に活用し協働して課題解決に取り組むことができたか	—	—	3.6
連携	○関係機関との連携による教育活動や諸行事の円滑な運営 ○地域や保護者への教育成果の周知及び普及	○地域や PTA 等関係機関との連携を図り、教育活動や諸行事の円滑な運営に努めたか	4.0	4.1	3.7
		○地域への情報発信や学年・学級からの情報発信の充実など地域に開かれた学校づくりが図られたか	3.8	4.0	3.6
働き方改革	○「北海道アクション・プラン」の推進	○公立学校の教師の勤務時間の上限に関する指針（時間外の上限を「月 45 時間内、年 360 時間内とする」）を遵守できたか	—	—	3.1

対象	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	生徒	保護者	教員
学習指導	○カリキュラム・ポリシーに則った教育課程の編成及び実施 ○「主体的・対話的で深い学び」の実践を通じた自主的な学習態度の育成 ○「令和の日本型教育」に示された個別最適な学びと協働的な学びの実践、及びそれらを支える ICT の有効活用	○卒業後の進路に求められる資質・能力を着実に育成できる教育課程を編成・実施し、グラデュエーション・ポリシーに示された 8 つの資質・能力を育成しているか	4.3	4.4	4.3
		○指導と評価の一体化の観点から、観点別評価を適切に実施し、指導方法の工夫・改善に生かすことができたか	4.2	4.3	4.4
		○教科横断的視点から、総合的な探究の時間を中心に探究的な学びの充実が図られたか	4.3	4.4	3.8
		○生徒の実態を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」に係るアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善を図り、コミュニケーション能力を育成できたか	4.1	4.1	3.6
生徒指導	○基本的な生活習慣の確立及び、集団生活の規律や協調、責任を重んじる態度の育成 ○特別活動や課外活動等を通じた社会性や主体性の育成 ○いじめ撲滅へ向けた取組の徹底	○生徒の実態を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの実践、及びそれらを支える ICT を効果的に活用できたか	4.4	3.9	3.5
		○家庭との連携を図りながら規律ある生活により集団生活の基本を体得させるとともに生徒の自己管理を促し、自立を支援することを通して、基本的な生活習慣を確立できたか	4.2	4.0	4.1
		○生徒の自主性やコミュニケーション能力を育成するため、ホームルームや生徒会行事等の活性化に取り組んだか	4.1	4.3	4.1
		○お互いに人格と個性を尊重し支え合い、多様な在り方を相互に認め合える人間関係の形成を通じて、組織的にいじめの未然防止や解消を図るとともに、社会性や規範意識を育成できたか	4.2	4.4	4.3
進路指導	○生徒が主体的に進路実現を目指すよう、早期からの進路指導の実施 ○生徒の能力や適性の的確な把握を踏まえた支援による進路意識の醸成 ○保護者・地域・雇用主・外部支援機関との連携に基づいた最適な進路実現	○4 年間を見通した系統的で継続的な指導計画により、「社会人基礎力」の底上げを図り生徒の自立を支援するとともに生徒の進路意識を高められたか	4.2	4.4	4.3
		○進路面談の実施や進路情報の提供により、生徒一人一人の確かな自己実現を支援したか	4.4	4.0	4.5
		○生徒・保護者の希望や期待を実現するため、外部機関や家庭とも連携して進路指導を行ったか	4.4	4.0	4.4
健康・安全指導	○心身の調和のとれた健全な生徒の育成 ○健康的で安全な学習環境の整備及び、情報を活用した、生徒理解の深化 ○家庭や地域、関係機関との連携による交通事故等の防止	○心身ともに健康な生徒を育成するため、健康・安全意識を高める啓発活動を行ったか	4.4	4.3	4.5
		○外部とも連携した教育相談や生徒理解の取組を充実させ不登校等の早期発見と組織的な支援を行うことができたか	4.2	4.1	4.5
		○事故防止の観点から、家庭や地域、関係機関との連携を図ったか	4.2	4.2	4.4
運営	○PDCA のマネジメントサイクルによる教育活動の改善・充実 ○組織的・機能的な協働体制の充実	○経営方針や教育目標を明示し、各種反省会議や学校評価を適切に行い課題を明確にすることで、教育活動の改善・充実を図ることができたか	—	4.1	4.4
		○責任を明確化しつつ、分掌間・職員間の連携を図り、校内研修会等を効果的に活用し協働して課題解決に取り組むことができたか	—	—	4.4
連携	○関係機関との連携による教育活動や諸行事の円滑な運営 ○地域や保護者への教育成果の周知及び普及	○地域や後援会等関係機関との連携を図り、教育活動や諸行事の円滑な運営に努めたか	4.3	4.4	4.3
		○地域への情報発信や学年からの情報発信の充実など地域に開かれた学校づくりが図られたか	4.3	—	4.3
働き方改革	○「北海道アクション・プラン」の推進	○公立学校の教師の勤務時間の上限に関する指針（時間外の上限を「月 45 時間内、年 360 時間内とする」）を遵守できたか	—	—	4.9

生徒・保護者の皆様の評価やご意見の中で指摘が最も多かったのが冷暖房を含めた「施設・設備の適切な整備」の部分です。現在の校舎は、46 年前に増改築が完成して以降、防災対策や外壁補修などは行われてきましたが大規模な改築が行われていません。本校は道立高校ですので、北海道へ大規模改修の要望はしておりますが、道立学校は全部で 260 校以上あり、早急に改修されるのは非常に難しい状況であることを、ご理解いただきたいと思います。その他にも個別のご意見等も複数いただいております。お寄せいただいたご意見等には、できるだけ真摯に対応してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

今回の学校評価並びに校内で実施された年度末反省会議の内容を踏まえ、次年度の目標や評価の観点を策定いたします。ご協力いただきたいへんありがとうございました。なお、学校評価の結果につきましては、後日学校ホームページに掲載いたします。

■ **第 74 回卒業証書授与式** 今年は卒業式が日曜日にあたりましたので卒業式前々日には、全日制、定時制それぞれに同窓会入会式が行われ、同窓会幹事への委嘱状の授与、記念品の贈呈や同窓会長挨拶、同窓会の説明などがおこなわれました。3 月 1 日、それぞれに卒業式が行われました。今年の卒業生は、定時制では入学から 1 年間、コロナ禍による制限を受けた学年ですが、全日制では入学の年から、定時制では 2 年生から段階的な制限解除により従来通りの高校生活を送ることができました。全日制では卒業生・保護者とともに、定時制では在校生も含め、厳粛かつ盛大に卒業を祝うことができました。卒業生全員が、これまで支えてきてくれた友人やご家族に対する感謝の気持ちを忘れることなく、校訓「自主自立・親和協力」の精神で、それぞれの人生を力強く切り拓いてほしいと思います。



全日制 同窓会入会式の様子



全日制 卒業生代表 森田さんによる答辞



定時制 卒業証書授与の様子

■ **3 年間、ありがとうございました** 保護者の皆様や月寒にお住まいの皆様には本校の教育活動をもっと知ってもらおうと考え、この 3 年間発行してまいりました「月高だより」ですが、学校の教育活動や行事の様子、部活動での生徒の活躍などをいろいろとお伝えできたのではないかと考えています。月高・月定を少しでも身近に感じていただけたとすれば幸いです。このたび、作成・発行してきた現校長が役職定年となりますことから、「月高だより」をいったん終了いたします。これまでお読みいただき、ありがとうございました。今後とも、月高・月定の生徒たちを応援していただきますよう、また、本校の教育活動に変わらぬご支援とご協力をいただけますようよろしくお願いいたします。

■ 羽ばたけ鴻鵠、全国に～今年度 全道・全国大会での活躍

部活名	大会名	期日	結果
美術部	2026 第 16 回道展 U21	2/6-8 (札幌)	読売新聞北海道支社賞 1 年 原さん、奨励賞 2 年 細野さん、生田さん、石原さん、入選 1 年大越さん、2 年 後藤さん、水野さん、西山さん

■ 今後の行事予定

	全日制	定時制
4 月	8 着任式・始業式・入学式、9 実力テスト・対面式、16 身体測定、21 歯科検診、23 内科検診、28 胸部 X 線・心電図（1 年）、30 生徒総会	8 着任式・始業式・入学式、9 対面式、13 胸部 X 線・心電図（1 年）、17 生徒総会・役員認証式、24 身体測定

● 本校ホームページもご覧ください。←

<http://www.sapporotsukisamu.hokkaido-c.ed.jp/>←



● 本校への応援やご意見などのメッセージなどを右の QR コードまたは、下のアドレスよりお寄せください。←

<https://forms.gle/iD4cobHyvqSNvGGy7>←

